期待を胸に

岩日タイムズ

発行者
岩瀬日本大学
高等学校

猿山　祈
佐藤　壱哉
相野谷　叶乃

新たな一歩を踏み出す
平成31年度入学式

４月４日、雲ひとつない青空の下、平成31年度入学式が行われました。真新しい制服をまとった新入生１６１名が緊張した面持ちで座席に着席していました。担任の先生に名前を呼ばれると、元気良く堂々とした返事をしていました。

新入生を代表して誓いの言葉を述べる緒方さん

齊藤校長は、「努力して頑張ることが、夢の実現への第一歩。努力なくして夢は実現しない。岩日の伝統を君たちで作っていってほしい」と新入生に激励の言葉を送りました。

在校生代表として、生徒会長の山﨑祐杜（ゆうと）さんは、新入生に向けて「不安はあるかもしれないが、新しい友達を作り、学校行事を通して、岩日を盛り上げていってほしい」と呼びかけました。

新入生代表の緒方桃子さん（栃木・田野中出身）は、「今までと環境の変化の中で不安もあるが、高校生活を頑張っていきたい」と決意を述べました。

入学式が終わり、担任の先生の後に続いて、新入生は各クラスの教室に入り、初めてのホームルームでは自己紹介や１年間の目標などの説明がありました。

教室に入ったときはまだ緊張していた新入生の表情も和らぎ、穏やかな空気に包まれました。先生の話を熱心に聴き、新しい生活に対して希望に満ちあふれた様子をひしひしと感じました。（佐藤）

合唱愛好会が校歌を披露

校旗とともに退場する山崎さん

編集後記

今年は在校生として入学式に参加しましたが、これから始まる高校生活への期待と不安を胸に緊張した様子の新入生を見て、２年前の入学式を思い出しました。

そんな時に先生方から優しい言葉や、学習や部活に励み、楽しく学校生活を送っている先輩方を見て、勇気をもらい気持ちを奮い立たせることができたことも記憶に残っています。私も新入生の見本になれるよう改めて自分の生活を見直したいと思います。

校長先生のお話にもあったように、新入生には今までの伝統を受け継ぎながら、新しい制服とともに新たなことにチャレンジし、岩日を更に良い学校にしてほしいと思います。（相野谷）

担任の柴田先生による最初のホームルーム